

板柳町総合教育会議議事録

1. 会議日時 令和3年6月28日(月) 午前10時

2. 会議場所 板柳町多目的ホール あぷる 会議室

3. 出席者

(構成員)

町長 成田 誠

板柳町教育委員会

教育長 永澤 正己

委員 阿部 隆義

委員 坂本 正幸

委員 松橋 洋

委員 田澤 傳弘

(事務局)

総務課長 大井 俊介

学務課長 對馬 潤

学務課長補佐 田中 禎一

行政係長 鳴海 紘介

5. 傍聴者 東奥日報 秋元 宏宣

陸奥新報社 猿山 結女

6. 協議・調整事項

① 小学校統合に係るアンケート調査の結果について

② 板柳町立小学校統合の基本方針について

7. 会議内容

別紙のとおり

別紙

○大井総務課長

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから板柳町総合教育会議を開催いたします。開会に先立ちまして町長から挨拶をお願いいたします。

○成田町長

改めておはようございます。教育委員の皆様には大変お忙しい中、本日板柳町総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。皆様には常日頃から当町の教育行政に対して大変ご理解とご協力をいただいております。心から感謝を申し上げます。また、小学校の統合にあたっては大変ご苦勞をされており、重ねてお礼を申し上げます。

前回の2月の総合教育会議においては、皆様から小学校統合の4つの基本方針についてご説明がありました。その内容でありますけれども、1つ目は「4校ある小学校を1校に統合する」、2つ目は「板柳中学校に隣接した土地に統合小学校を建設し小中連携を図る」、3つ目は「可能な限り早期に開校させたい」、そして4つ目は「板柳町立小学校統合整備検討委員会を設置して必要な調査検討を行う」という内容となっております。町では教育委員会から説明があったこの4つの基本方針について尊重するというので皆様と認識を共有しております。

今回、教育委員会では小学校統合にあたって地域の保護者や町民のご意見ご要望を参考にするためアンケート調査、そして地区懇談会を開催しております。教育委員の皆様には毎回地区懇談会に参加していただいたと伺っており、大変感謝しております。

また、教育長はじめ職員のみなさんには、大変ご苦勞さまでした。どうか、将来を担う子ども達のために、安全で快適な、そして子どもたちから喜んでもらえるような統合小学校の整備に向けて皆様にはなご一層のご尽力をお願い申し上げて一言ごあいさつとさせていただきます。どうか今日はよろしく願いいたします。

○大井総務課長

ありがとうございました。それでは協議・調整事項に入りますが、要綱第3条により町長が議長をつとめることとなっておりますので、よろしく願いいたします。

○成田町長

それでは、暫時よろしく願いいたします。本日の会議の案件は小学校統合につ

いての内容となっております。最初に、小学校統合に係るアンケート調査の結果について事務局から説明をお願いいたします。

○對馬学務課長

学務課の對馬です。座って説明させていただきます。初めに、小学校統合に係るアンケート調査の概要について説明をいたします。

1. 調査の目的。子どもたちにより良い教育環境を整備するにあたって、統合小学校のあり方について検討するための資料として、アンケート調査を実施しました。

2. 調査対象。小学校4校、保育所5施設にお子さんがある世帯の保護者、町内会会長、行政連絡員、民生児童委員、学校評議員の計937人を対象としました。

3. 調査方法。小学校の児童の保護者には郵送配布、保育所のお子さんの保護者には施設から配布、町内会会長、行政連絡員等の皆様には郵送配布としました。各世帯に複数のお子さんがある場合は、1世帯1部のみの回答としました。

4. 調査期間。令和3年4月1日から令和3年4月20日までとしました。

回収方法ですが、配布数937人、回答数440人、回答率は47%となっております。

次に、小学校統合に係るアンケート調査の結果について説明いたします。

問1「あなたがお住まいの小学校区を教えてください。」

お住まいの小学校区をお聞きしたところ、板柳北小学校区が36.6%、次いで板柳南小学校区が33.9%、小阿弥小学校区が17.3%、板柳東小学校区が11.6%の順でした。

問2「お子さんの学年を教えてください。」

お子さんの学年については、「未就学」と回答した方が37.8%と最も多く、「小学校1年生」から「小学校6年生」まではいずれも10%前後でした。

問3「各小学校区の児童数は年々減少し、管内において複式学級が設置されている小学校がありますが知っていますか。」

複式学級についてお聞きしたところ、「知っている」と回答した方が53.7%、「知らない」が46.1%でした。

問4「板柳東小学校以外の校舎は、建設から40年前後が経過し、老朽化が進行していますが知っていますか。」

学校施設の老朽化について、「知っている」と回答した方が67%、「知らない」と回答した方が32.5%でした。

問5「小中一貫教育や小中連携教育という言葉聞いたことがありますか。」

小中一貫教育、小中連携教育についてお聞きしたところ、「聞いたことがある」と回答した方が61.8%、「聞いたことがあるがよく分からない」が35.7%でした。

問6「小学校の統合についてお聞きします。」

小学校統合の賛否についてお聞きしたところ、「統合した方がよい」と回答した方が55.9%で、「統合しない方がよい」の8.0%を大きく上回り、「分からない」が34.1%でした。

問7「統合することになった場合、どのような統合を望みますか。その他の場合はご記入ください。」

「4校を1校に統合し、板柳中学校に隣接して新校舎を建設する」と回答した方が45.9%と最も多く、次いで「4校を1校に統合し、2年後に閉校する板柳高等学校の施設を利用する」が11.8%、「4校を2校に統合し、既存小学校2校の施設を利用する」が11.6%、「4校を1校に統合し、既存小学校の施設を利用する」が3.2%で最も少なく、「分からない」が15.7%でした。

「その他」の少数意見では、「北小と南小の2校を統合し板柳高校を利用する」、「小阿弥小学校と東小学校の2校を統合し東小学校を利用する」、「4校を3校に統合し、北小、南小、東小を利用する」などでした。

以上がアンケート調査の概要と調査結果になります。

なお、資料は用意してございませんが、小学校統合に関しまして各地区で懇談会を開催しております。対象者につきましては、町内の小学校に在籍している児童の保護者、町内の保育所に入所している幼児の保護者、町内会会長、行政連絡員、学校評議員の計894人を対象としました。

開催日時と会場ですが、令和3年4月12、13日午後6時より板柳北小学校体育館、令和3年4月14、15日午後6時より板柳南小学校体育館、令和3年4月19日午後6時より小阿弥小学校体育館、令和3年5月13日午後6時より板柳東小学校体育館、計6回の地区懇談会を実施しております。

参加者数は、板柳北小学校23人、板柳南小学校30人、小阿弥小学校21人、板柳東小学校21人、計95人の参加となっております。

懇談会での皆様からのご質問、ご意見につきましては、今後参考にさせていただきたいと思えます。

以上がアンケート調査の概要及び調査結果となりますが、アンケート調査のその他のご意見並びに地区懇談会でのさまざまなご質問、ご意見につきましては町のHPに掲載する予定となっておりますので、よろしくお願ひいたします。

以上で説明を終わります。

○成田町長

ありがとうございました。ただいま事務局からアンケート調査の結果についてご説明がありました。これについて委員の皆様からご質問ご意見がありましたらお願ひしたいと思えます。

特段ないですか。先ほど事務局から説明がありましたけれども、今回の調査は、小学校、保育所の保護者の他に、町内会会長、行政連絡員、民生児童委員、そして、学校評議員を対象としており、多くの町民の方の意向が反映されたアンケートになったと思えます。

また、地区懇談会においても多くの方から貴重なご意見やご要望がありました。今回のアンケート調査、そして地区懇談会の結果はいずれも今後統合小学校を進める上で大変貴重な資料になると思えます。これをまとめるにあたって職員の皆様には大変ご苦勞されたと思えます。ありがとうございました。

それでは次に、板柳町立小学校統合の基本方針について事務局から説明をお願ひします。

○對馬学務課長

板柳町立小学校統合の基本方針について説明をいたします。

小学校4校は近年の少子化に伴う児童数の減少や施設の老朽化、複式学級の設置など様々な課題に直面しており、子どもたちにより良い教育環境の整備が急がれています。

また、アンケート調査において、「統合した方がよい」と回答した方が55.9%で、「統合しない方がよい」の8%を大きく上回り、地区懇談会においても、様々な意見がありますが、おおむね小学校の統合に賛成する方が多い。

教育委員会では、小学校の抱える様々な課題や町民の意見、意向を尊重し、小学校統合に向けて、次の基本方針を定める。

1. 学校規模について

4校ある小学校を1校に統合する。

理由としましては、アンケートでは、どのような統合を望みますかの質問の中で、4校を1校に統合する項目を合わせて、全体の60.9%を占め、4校を2校に統合するが11.6%である。

2. 統合小学校建設場所について

板柳中学校敷地に隣接した土地に統合小学校を建設し、小中連携を図る。

理由としましては、アンケートでは、どのような統合を望みますかの質問に対し、「4校を1校に統合し、板柳中学校に隣接して新校舎を建設する」と回答した方が45.9%と最も多くなっています。

3. 統合小学校開校時期について

可能な限り早期に開校させたい。

理由としましては、地区懇談会の中で、保護者や町民から意見や要望がありました。

以上が基本方針について説明となります。

○成田町長

ありがとうございました。ただ今、事務局から小学校統合の基本方針についてご説明がありました。これについて委員の皆様からご質問ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

特別ありませんか。今回の基本方針ですけれども前回の、2月の総合教育会議において、申し合わせた内容と同様となっております。今回、アンケートと地区懇談会の結果が反映された内容になっていると理解しております。

教育委員の皆様が定めたこの基本方針について、町としてはこれを尊重し、しっかりと対応してまいりたいと考えております。今回のアンケート調査、地区懇談会を通していろいろなご意見があったと思いますが、これについて教育長から特に何かありましたらお願いしたいと思います。

○永澤教育長

先ほど対馬学務課長からアンケートと地区懇談会についての報告がございました。多くの町民の皆様は小学校の統合について好意的に受け止めてくださっているととらえました。

ただ一方では、統合小学校の建設にあたって財政面を心配する声はありました。また町民に対して行政サービスが低下するのではと不安を述べた方もいらっしゃいました。その他、残された小学校の建物や板柳高校の利活用は町として、公共施設

の長期計画がどのようになっているのか知りたいというご意見もありました、その他、4つの小学校が統合となった場合、通学用のスクールバスはどうか、あるいは温暖化に伴うエアコンの設置などはどうかといったお尋ねもございました。

これらはいずれも町の財政に大きく関わることであり、町づくりの在り方等が問われていることになると考えます。成田町長におかれましては、町民が心配している事柄への対応についてお力添えをいただき、統合小学校への道を是非開いていただければと思っております。子どものために安全で快適な学校づくり、より良い教育環境が整備されますよう、町長にはよろしく願いいたします。

○成田町長

ありがとうございました。教育長がお話したことは、いずれも町民の貴重なご意見ご要望ですので、町としても真摯に受け止めたいと思います。

その中で、通学バス、エアコンのお話がありました。これについては、小学校が統合されることでほとんどの児童が通学距離が遠くなり、また保護者にとっても大きな負担となります。現在、板柳中学校においては、昨年度から冬期間のスクールバスの運行区域を拡大し、遠距離からの生徒の通学支援を行っております。当然、統合小学校においても児童の通学安全と保護者の負担軽減のため通学バスがなくてはならないものと認識しており、年間を通したスクールバスの運行を進めていきたいと考えております。

また、エアコンでありますけれども、板柳中学校の各教室にも設置しており、子どもたちの健康や快適な学習環境のためにも必要不可欠な設備だと考えております。

それから、財源対策についてのお話がありました。統合小学校の建設にあたっては財源確保が大変大事なことであります。基本的には国の補助金や通常の起債よりも有利な過疎債を活用することにより、町の持ち出しを極力抑えてまいります。

少し具体的にお話をさせていただきたいと思いますが、板柳中学校新校舎の建設の場合であります。約25億7千万円の工事費でしたが、国の補助金と過疎債を活用したことにより最終的に町の持ち出し分は6億円で、総工事費の23%で済んでおります。その理由としては過疎債にあります。この過疎債ですけれども、国からの補助金を差し引いた残りの工事費に対して充当率が100%で、元金の他に利息を含めた償還金に対して70%が地方交付税に算入されるため、町の持ち出しは実質30%で済むこととなります。

今回の統合小学校の事業費は約40億円を見込んでおりますが、同じように試算すると最終的な町の持ち出し分は約10億円で全体の4分の1程度となります。こ

の過疎債の償還についてでありますけれど、24年の償還期間で毎年3,900万円程度の返済となりますが、町の貯金となる基金の積立金が各年度末で約34億円程度確保しており、健全な財政運営の中で十分対応できる状況になっております。

次に、跡地利用のお話がありました。統合小学校後の旧校舎の利活用については、大変大事な課題だと認識しております。現在、小学校の跡地利用については庁内に検討会議を立ち上げております。関係する各課から係長クラスの職員をメンバーとして、今後具体的に学校施設の利活用を検討してまいりますけれども、最終的には地域住民や関係者の意見を聞きながら跡地利用を進めてまいりたいと考えております。

少し長くなりましたけれども、小学校の統合は、町にとって大事業であります。子ども達や地域に愛され、誇れる統合小学校となるためにも、町民からのご意見やご要望に対してしっかりと対応していきたいと考えております。どうか、教育委員の皆様には永澤教育長を中心に保護者や町民が望んでいる統合小学校を目指し、そして子ども達に喜んでもらえるような新しい学び舎の整備に向けて今後ともしっかりと対応してほしいと思います。

皆様から特別発言がなければこれで終わりたいと思いますがよろしいでしょうか。

無いようですので、以上で本日の案件は全て終了いたしました。大変ありがとうございました。それでは会議進行を事務局にお返しいたします。

○大井総務課長

ありがとうございました。以上で総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。